

# 事務事業評価シート

(H.30)No.	1477	(H.29)No.	1477
-----------	------	-----------	------

事務事業名	先駆的空家対策モデル事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
都市整備部	営繕住宅室	鷲阪 文宣	

会計区分	事業コード	422801
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 土木費	先駆的空家対策モデル事業	
項 住宅費	(小事業名)	
目 住宅総務費	先駆的空家対策モデル事業	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	2	美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち
	基本施策	5	快適な生活環境づくり
	施 策	1	住宅・住環境
重点プロジェクト	2.若者定住促進プロジェクト		

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
若年層の移住・定住を促進します。
事業内容
市内の15地域のうち、住宅地タイプ別に空き家等利活用促進地域を指定し、地域・民間事業者等・市が協力して若年層の移住・定住促進につながる施策の検討・実施を行います。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)	
	主な事業の実績・計画	<p>空き家等利活用促進地域における若年層の移住・定住促進につながる施策の検討を行い、創業に適した空き家の掘り起こしや、地域と商工会議所と市の連携による創業支援を行うこととしました。</p> <p>また、農村・山間集落における空き家隣接農地の耕作放棄対策として、農業委員会に対して基線緩和に関する請願を提出しました。</p> <p>さらに、子育て世代のニーズ把握のため、2地域4小学校の保護者にアンケートを行い、分析を行いました。</p>		<p>市内の15地域のうち、住宅地タイプ別に空き家等利活用促進地域を指定し、地域・民間事業者等・市が協力して若年層の移住・定住促進につながる施策の検討・実施を行います。</p>

H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)	H.33年度(事業計画)

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		5,507千円		0千円	0千円	0千円	
内訳 (千円)	国・県支出金	5,500					
	地方債						
	その他( )						
	一般財源	0	7	0	0	0	0
人工数	職員	0.90人		0.00人	0.00人	0.00人	
	臨時職員等						
②概算人件費	0千円	6,660千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
①+②総事業費	0千円	12,167千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円

## 4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
市内の15地域の中から、既存住宅地から名張地域、住宅開発地から桔梗が丘地域、農村・山間集落から赤目地域の3つの住宅地タイプ別に空き家等利活用促進地域を指定し、若年層の移住定住につながる取組の検討・実施を行いました。住宅地タイプ別の課題の解決に向けた話し合いを行い実態調査やニーズ把握を行いました。ニーズ把握のため実施したアンケートの分析や空き家所有者情報の外部提供、すまいの相談会の開催に係る費用等を国土交通省の補助事業を活用することにより一般財源を大幅に節約できました。

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	統合(予定含む)
---	----------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
空き家等利活用促進地域における若年層の移住定住につながる取組の検討・実施は継続して行いますが、国土交通省の補助事業は終了したため空家対策事業に統合します。

6. 事務事業の取組に関する市の計画
名張市空家等対策計画